

## 困りごと・要望事項

岡山県森林土木建設協会

区分	県民局	工事名	要 望 事 項	回 答	備 考
			<p>1 伐採木の処理方法</p> <p>森林土木工事については、現場内での処分が多いと思われます。 建設部の工事については、処分場での処分が多いと思われます。 現場内処分の場合、人力による作業が多く手間取る又民家や道路上部の場合、落下の危険が生じる。</p>	<p>森林土木工事では、森林の保全を図るために原則として現場内に処理し、林地に自然還元しているところでは、</p> <p>なお、人家・公共施設等が近くに存在するなど現場内処理が不可能である場合は、産業廃棄物として処分場に搬出しているところですので、御理解願います。</p>	
			<p>2 仮設防護柵の形状</p> <p>森林土木の工事については、木製防護柵を多く使用されていると思われま す。 建設部の工事については、大中規模の場合H鋼材の使用、小規模の場合単 管杭を多く使用されていると思われま す。 木材の場合調達困難な上再利用ができません。</p>	<p>森林土木工事では、国の木材利用推進計画等に基づき、防護柵についても可 能な限り木材を利用することとしているところでは、</p> <p>また、防護柵の形状の選定にあたっては、現場地形や人家・公共施設等との 距離などを勘案した上で決定しており、現場によってはH鋼や単管を使用するな ど使い分けをしているところですので、御理解願います。</p> <p>なお、受注後に木材の調達困難となった場合等については、変更すること ができる場合がありますので、監督員に協議をお願いします。</p>	
			<p>3 法面保護工</p> <p>森林土木工事については、かご枠工、木製(丸太)、植生土のう等多く使用さ れていると思われま す。 建設部の工事については、法枠工・厚層基材吹付等が多く使用されていると 思われま す。 植生土のうを使用する場合、端部の取付のみに使用する。 山腹に構造物を施工する場合、人力作業が多く手間取る。 建設部の場合、モノレール等の材料運搬仮設を計上する。</p>	<p>治山工事では、国の技術基準に基づき、かご枠を用いた土留工や、丸太と植 生土のうを用いた筋工等を基礎にして、苗木の植栽を組み合わせることで、荒廃 した森林を早期に復旧・改善を図ることを目標としております。</p> <p>一方で、土壌条件の悪い急傾斜地や、林道工事での法面保護工においては、 法枠工や厚層基材吹付工を適用しているところでは、</p> <p>また、材料運搬についても、特装車などによる搬入が困難な場合はモノレール を活用した搬入も行っているところですので御理解願います。</p>	

**【回答共通事項等】**

- 当初設計内容に関し、設計変更の対象の可否や、疑問点等がある場合は、入札公告(指名通知)後から入札前までの一定期間中に質問が可能であるので、この制度の積極的な活用をお願いします。
- 工事に必要な作業は適切に積算され、変更されるべきではありますが、協議前に実行され、その内容数量等が確認できない場合は、やむを得ず変更できない場合もありますので必ず事前の協議をお願いします。
- 口頭での協議では後に齟齬が生じる危険性がありますので、特に設計変更に関する事項(結果として変更がない場合を含め)は必ず工事打合簿で確認できるようにしてください。